

噴火する桜島(福井清子さん撮影、
写真部門の参考作品)



地球・地学の研究など募集

益富賞3部門 11月受け付け

地学関連の研究や標本、写真作品の全国規模のコンテスト「益富地学賞」(産経新聞社後援)の作品募集が11月から行われる。子供たちの夏休み中の自由研究作品なども対象で、主催する公益財団法人・益富地学会館(京都市、山岡景一郎理事長)は「好奇心を持って、地球に関する研究や作品制作を楽しんでほしい」と呼びかけている。

長年続けてきた学校主体の公募展を昨年リニューアル。幼児から大人まで幅広く公募し、本格的な研究から観光で訪れた土地で写した景勝や珍しい地形、自然現象の写真までを対象に加え、去年は数十点の応募があった。

募集は3部門あり、研究部門は野外での観察や調査を伴う論文や報告。標本部門は応募者自身が採取したもので、解説をつける。写真部門はA4プリントか電子データで応募する。各部門ごとに優秀賞などが選ばれるほか、全応募作品の中から1点に産経新聞社特別賞が贈られる。募集開始は11月1日から。問い合わせは益富地学会館(☎075・441・3280、Eメールinfo@masutomi.or.jp)。